

2011年11月4日

報道各位

日本歯磨工業会

2011年度 歯の衛生週間企画 第11回標語募集表彰式
最優秀賞「きれいな歯 自然とにっこり 良い笑顔」

日本歯磨工業会（会長 藤重貞慶）では、歯の衛生週間の関連企画として、2001年より「歯をみがくことの大切さ」をテーマにした標語を全国の皆さまから募集しています。

11回目となった本年度は、「歯の大切さ、歯をみがくことの大切さを言葉にしてみませんか」をテーマに、川柳的なもの、メッセージ性のあるものなど、楽しい言葉を4月1日～6月30日の3ヶ月間にわたって募集しました。

本年度の賞は、最優秀賞の他に優秀賞・ユニーク賞・ファミリー賞の各賞と佳作に加えて、当工業会設立40周年を記念して「特別賞」を設定しました。その結果、応募作品数は5,367点と過去最高となり、その中から最優秀賞1点をはじめ各賞と佳作20点を選出し、10月27日(木)に最優秀賞「きれいな歯 自然とにっこり 良い笑顔」の作者・三木裕之さんにご出席いただき、大阪市内で表彰式を行いました。

表彰式には、日本歯磨工業会広報委員長・白川英一（サンスター株式会社）、同専務理事・山下育生ら標語審査メンバーが出席し、白川広報委員長より、表彰状と賞金が三木さんへ手渡されました。

小学校の校長先生である三木さんは「受賞の知らせを聞いた時は、とても驚きました。その賞が、最優秀賞と聞いてまたびっくり。いろいろな方にお目にかかる機会がありますが、笑顔がきれいな方は歯もきれいですね。そんな日ごろ感じていたことを言葉にしてみました」と受賞の喜びを語ってくれました。

三木さんの作品は、ホームページに掲載する他、当工業会の標語として幅広く活用します。また、優秀賞、各賞の作品も当工業会のホームページで紹介しています。

<日本歯磨工業会ホームページ <http://www.hamigaki.gr.jp/hamigaki2/>>

本件のお問い合わせ先

日本歯磨工業会

山下育生

TEL03(3249)2511

日本歯磨工業会

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町2-4 三報ビル7F TEL03-3249-2511 FAX03-3249-2513

参考資料

<表彰式レポート>

10月27日（木）、大阪市内で行われた表彰式には、最優秀賞の作者、大阪府池田市の小学校の校長先生・三木裕之さんにおいでいただきました。

「素朴な言葉を使った作品だったので、最優秀賞は、うれしいけれども恥ずかしいような気持ちでした。『にっこり』という言葉が良かったのでしょうか。日ごろ、子ども達や保護者の方々をはじめ、いろいろな方にお目にかかる機会がありますが、笑顔で来られる方は、みなさん歯がきれいです。長い年月の間に良い笑顔になるのでしょうかね。この作品で、賞をいただき、たいへんうれしく思っています」と受賞の喜びを語ってくれました。

また、小学校での歯みがき習慣について、「最近、保護者の方々も子ども達も歯みがきについて、とても関心が高く、学校での歯みがきも熱心に取り組んでいます。6年間ムシ歯のない子どもを表彰していますが、約6割の子どもが表彰対象になります。私自身の子どもの頃とは、ずい分変わったものだと実感しています」と、お話してくださいました。